

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道497号 今宿道路	自:福岡県福岡市 至:福岡県糸島市	昭和45年度事業化 昭和47年度用地着手 昭和47年度工事着手	2,791 2,791	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約97% 事業進捗率:約81% (令和6年3月末時点) 上深江交差点～糸島市二丈福井 L=5.8km(一般部2/4) S58年度開通 真方交差点～東交差点 L=0.5km(一般部2/2) S63年度開通 波多江交差点～有田中央交差点 L=2.2km(一般部2/4) H4年度開通 福重JCT～東交差点 L=14.5km(自専部4/4) H10～H15年度開通 東交差点～上深江交差点 L=3.0km(一般部2/2) H16年度開通 青果市場入口交差点～飯氏交差点 L=7.4km(一般部4/4) H18年度開通 飯氏交差点～波多江交差点 L=1.7km(一般部4/4) H25年度開通 波多江交差点～有田中央交差点 L=2.2km(一般部4/4) H26年度開通 有田中央交差点～真方交差点 L=3.0km(一般部2/2、4/4) H30年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進 東地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 東地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道208号 有明海沿岸道路 (大牟田～大川)	自:福岡県大牟田市 至:福岡県大川市	昭和63年度事業化 平成2年度用地着手 平成12年度工事着手	2,631 2,631	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約98% 事業進捗率:約83% (令和6年3月末時点) 大牟田IC～高田IC L=9.8km(自専部2/4) H19年度開通 柳川西IC～大川東IC L=2.4km(自専部2/4) H19年度開通 高田IC～大和南IC L=2.0km(自専部2/4) H20年度開通 三池港IC～大牟田IC L=1.9km(自専部2/4) H23年度開通 大和南IC～徳益IC L=3.2km(自専部2/4) H24年度開通 徳益IC～柳川西IC L=4.5km(自専部2/4) H29年度開通 大川東IC～大野島IC L=3.7km(自専部2/4) R2年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 新港地区ほか改良工 三池港IC南橋下部工 三池港IC橋上部工 大島高架橋上下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道208号 大川佐賀道路	自:福岡県大川市 至:佐賀県佐賀市	平成13年度事業化 平成24年度用地着手 平成27年度工事着手	986 986	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約81% 事業進捗率:約51% (令和6年3月末時点) 大野島IC～諸富IC L=1.7km(自専部2/4) R4年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 川副地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 川副地区ほか改良工 川副IC橋下部工 川副2号橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道3号 鳥栖久留米道路	自:佐賀県鳥栖市 至:福岡県久留米市	平成19年度事業化 平成21年度用地着手 平成23年度工事着手	387 387	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約96% 事業進捗率:約60% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 合川地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事: 水屋地区取得用地管理工事 ・工事推進: 宮ノ陣五郎丸地区改良工 思案橋川橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道3号 広川八女バイパス	自:福岡県八女郡広川町 至:福岡県八女市	令和5年度事業化	340 340	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率:約1% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道201号 八木山バイパス	自:福岡県糟屋郡篠栗町 至:福岡県飯塚市	平成31年度事業化 令和2年度工事着手	381 381	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率:約72% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 篠栗地区改良工 弁分高架橋ほか下部工 津原橋ほか上部工 黒木原橋床版工 九郎原トンネル工 篠栗地区舗装工 篠栗IC～筑穂IC L=5.7km(4/4) 令和6年度開通予定 筑穂IC～穂波東IC L=7.6km(4/4) 令和11年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道201号 香春拡幅	自: 福岡県田川郡香春町 至: 福岡県田川郡香春町	平成20年度事業化 平成24年度用地着手 平成28年度工事着手	101 101	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約81% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 呉地区改良工 新朝倉橋ほか上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道201号 仲哀拡幅	自: 福岡県田川郡香春町 至: 福岡県京都郡みやこ町	令和4年度事業化 令和6年度工事着手	84 84	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約3% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 鏡山地区ほか道路附属物工着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道210号 浮羽バイパス	自: 福岡県久留米市 至: 福岡県うきは市	昭和48年度事業化 昭和52年度用地着手 昭和54年度工事着手	276 276	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約99% 事業進捗率: 約95% (令和6年3月末時点) S58年度～H19年度: 板町北交差点～田主丸中学校北交差点 L=0.4km(2/4) 開通 船越小学校北交差点～今川通交差点 L=8.3km(2/4) 開通 今川通交差点～百堂坂交差点 L=1.7km(2/2) 開通 H21年度～H25年度: 田主丸中学校北交差点～船越小学校北交差点 L=2.5km(2/4) 開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 豊城地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 豊城地区改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道3号 黒崎バイパス	自: 福岡県北九州市 至: 福岡県北九州市	平成3年度事業化 平成5年度用地着手 平成10年度工事着手	945 945	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約95% (令和6年3月末時点) 黒崎北ランプ～陣原ランプ L=2.9km(2/4) H20年度開通 前田ランプ～皇后崎ランプ L=2.9km(4/4) H23年度開通 尾倉ランプ～前田ランプ L=0.9km(2/4) H24年度開通 春の町ランプ～前田ランプ L=1.5km(2/2)(4/4) R4年度開通 陣原オンランプ R4年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 黒崎地区改良工 黒崎西ランプ橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道3号 博多バイパス (下臼井～空港口)	自: 福岡県福岡市 至: 福岡県福岡市	令和4年度事業化 令和6年度用地着手 令和6年度工事着手	360 360	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 約1% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 空港口地区ほか用地買収着手 ・工事推進: 空港口地区迂回路工 (福岡北九州高速道路公社施工)	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道497号 伊万里道路	自: 佐賀県伊万里市 至: 佐賀県伊万里市	平成7年度事業化 平成22年度用地着手 平成28年度工事着手	339 339	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約99% 事業進捗率: 約57% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 長浜地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 脇田地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道497号 伊万里松浦道路	自: 佐賀県伊万里市 至: 長崎県松浦市	平成9年度事業化 平成19年度用地着手 平成20年度工事着手	712 712	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約67% 事業進捗率: 約63% (令和6年3月末時点) 山代久原IC～今福IC L=5.5km(2/2) H26年度開通 今福IC～調川IC L=2.6km(2/2) H29年度開通 調川IC～松浦IC L=2.2km(2/2) H30年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 久原地区ほか用地買収 ・工事: 久原地区取得用地管理工事	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道203号 多久佐賀道路(Ⅰ期)	自: 佐賀県多久市 至: 佐賀県小城市	平成15年度事業化 令和6年度用地着手	280 280	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 約6% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 畑田地区ほか用地買収着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道3号 鳥栖拡幅	自: 佐賀県鳥栖市 至: 佐賀県鳥栖市	平成20年度事業化 平成25年度用地着手 平成29年度工事着手	112 112	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約98% 事業進捗率: 約88% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 酒井西地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 姫方地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道34号 神埼佐賀拡幅	自: 佐賀県神埼市 至: 佐賀県佐賀市	平成4年度事業化 平成7年度用地着手 平成12年度工事着手	153 153	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約56% 事業進捗率: 約86% (令和6年3月末時点) 上犬童交差点～堀立西交差点 L=0.8km(4/4) H17年度開通 堀立西交差点～下湊交差点 L=2.1km(4/4) H22年度開通 姉川地区 L=0.5km(2/4) H27年度橋架替完了	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 上犬童地区用地買収 ・工事: 上犬童地区取得用地管理工事	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道34号 武雄バイパス	自: 佐賀県武雄市 至: 佐賀県武雄市	昭和49年度事業化 昭和55年度用地着手 昭和57年度工事着手	250 250	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約94% 事業進捗率: 約76% (令和6年3月末時点) 武雄市武雄町武雄～武雄市北方町大字大崎 L=4.1km(2/4) H元年度開通 武雄市武雄町武雄～武雄市武雄町武雄 L=0.8km(4/4) H12年度開通 武雄市北方町大字大崎～武雄市北方町大字大崎 L=1.4km(2/4) H29年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 木ノ元地区用地買収 ・工事: 木ノ元地区取得用地管理工事	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道202号 唐津バイパス	自: 佐賀県唐津市 至: 佐賀県唐津市	令和4年度事業化 令和5年度工事着手	60 60	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約5% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 唐津大橋下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道497号 松浦佐々道路	自: 長崎県松浦市 至: 長崎県北松浦郡佐々町	平成26年度事業化 平成27年度用地着手 平成28年度工事着手	1,130 1,130	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約93% 事業進捗率: 約57% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 乱橋地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 板橋免地区改良工 江迎4号橋ほか下部工 松浦2号橋ほか上部工 松浦4号橋床版工 江迎3号トンネルほかトンネル工 江迎2号トンネル工着手 松浦1号トンネルほかトンネル附属物工 松浦地区ほか舗装工 松浦地区ほか道路附属物工 松浦IC～平戸IC L=7.5km(2/2) 令和7年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 森山拡幅	自: 長崎県雲仙市 至: 長崎県諫早市	昭和63年度事業化 平成8年度用地着手 平成11年度工事着手	594 594	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約99% 事業進捗率: 約96% (令和6年3月末時点) 尾崎交差点～長野町交差点 L=1.6km(4/4) H21年度開通 森山東IC～森山西IC L=3.3km(2/2) R5年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 田尻地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 黒崎地区改良工 尾崎高架橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道34号 大村拡幅	自: 長崎県大村市 至: 長崎県大村市	平成3年度事業化 平成9年度用地着手 平成11年度工事着手	147 147	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約99% (令和6年3月末時点) 市役所前交差点～大村高校前交差点 L=0.5km(4/4) H14年度開通 大村高校前交差点～玖島中学校入口交差点 L=0.5km(4/4) H20年度開通 水主町交差点～市役所前交差点 L=1.0km(4/4) H20年度開通 玖島中学校入口交差点～国立医療センター入口交差点 L=0.3km(4/4) H21年度開通 国立医療センター入口交差点～久原2丁目交差点 L=0.2km(4/4) H22年度開通 久原2丁目交差点～与崎交差点 L=0.7km(4/4) H23年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。
国道34号 大村諫早拡幅	自: 長崎県大村市 至: 長崎県諫早市	平成30年度事業化 令和3年度用地着手	160 160	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約29% 事業進捗率: 約 9% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 中里地区用地買収	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道205号 針尾バイパス	自: 長崎県佐世保市 至: 長崎県佐世保市	平成19年度事業化 平成19年度用地着手 平成19年度工事着手	178 178	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約59% (令和6年3月末時点) 有福高架橋～小浦橋 L=1.7km(4/4) H22年度開通 小浦橋～江上交差点 L=0.7km(4/4) H25年度開通 江上交差点立体化 R元年度	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 崎岡地区改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道218号 矢部清和道路	自: 熊本県上益城郡山都町 至: 熊本県上益城郡山都町	令和4年度事業化 令和6年度用地着手	740 740	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 約1% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 城平地区用地買収着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道218号 蘇陽五ヶ瀬道路	自: 熊本県上益城郡 山都町 至: 宮崎県西臼杵郡 五ヶ瀬町	令和2年度事業化 令和4年度用地着手 令和5年度工事着手	378 378	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約14% 事業進捗率: 約10% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 滝上地区ほか用地買収 三ヶ所地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 滝上地区改良工 三ヶ所地区改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道3号 芦北出水道路	自: 熊本県葦北郡芦 北町 至: 鹿児島県出水市	平成5年度事業化 平成11年度用地着手 平成20年度工事着手	1,923 1,923	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約75% (令和6年3月末時点) 芦北IC～津奈木IC L=7.7km(2/4) H27年度開通 津奈木IC～水俣IC 延長5.6km(2/4) H30年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 袋地区ほか改良工 下鯖地区ほか改良工 六月田橋ほか下部工 水俣川橋ほか上部工 六月田橋ほか上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 竹田阿蘇道路	自: 大分県竹田市 至: 熊本県阿蘇市	平成31年度事業化 令和3年度用地着手 令和4年度工事着手	769 769	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約24% 事業進捗率: 約11% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 波野地区用地買収 会々地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 上鹿口地区ほか改良工 波野IC橋下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道57号 滝室坂道路	自: 熊本県阿蘇市 至: 熊本県阿蘇市	平成25年度事業化 平成29年度用地着手 平成30年度工事着手	661 661	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約74% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 坂梨地区ほか改良工 坂梨橋上部工 滝室坂トンネル工 滝室坂トンネル舗装工 滝室坂トンネル附属物工 阿蘇市波野大字小地野～阿蘇市一の宮町坂梨 L=6.3km(2/2) 令和8年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 大津道路	自: 熊本県菊池郡大津町 至: 熊本県菊池郡大津町	令和6年度事業化	340 340	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 0% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 大津熊本道路 (大津西～合志)	自: 熊本県菊池郡大津町 至: 熊本県合志市	令和4年度事業化 令和6年度用地着手	310 310	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 約2% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 上庄地区用地買収着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 大津熊本道路 (合志～熊本)	自: 熊本県合志市 至: 熊本県熊本市	令和2年度事業化 令和4年度用地着手 令和5年度工事着手	530 530	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約25% 事業進捗率: 約11% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 合生地区ほか用地買収 大島居町地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 合生地区ほか改良工 上生川橋ほか下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道57号 熊本宇土道路	自: 熊本県熊本市 至: 熊本県宇土市	平成9年度事業化 平成13年度用地着手 平成18年度工事着手	404 404	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約99% 事業進捗率: 約36% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事: 城塚地区取得用地管理工事 海路口地区取得用地管理工事	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 宇土道路	自: 熊本県宇土市 至: 熊本県宇土市	平成21年度事業化 平成26年度用地着手 平成28年度工事着手	434 434	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約98% 事業進捗率: 約45% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 網津地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 網津地区ほか改良工 割井川橋下部工 城塚橋ほか上部工 糖塚山トンネル工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道57号 宇土三角道路	自: 熊本県宇土市 至: 熊本県宇城市	令和3年度事業化 令和5年度用地着手	747 747	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約1% 事業進捗率: 約1% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 三角地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道208号 荒尾道路	自: 熊本県荒尾市 至: 熊本県荒尾市	令和5年度事業化	230 230	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 約2% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道3号 植木バイパス	自: 熊本県熊本市 至: 熊本県熊本市	平成11年度事業化 平成13年度用地着手 平成19年度工事着手	308 308	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約99% 事業進捗率: 約81% (令和6年3月末時点) 熊本市北区植木町大字鞍掛～鎧田 L=2.3km(2/4) H23年度開通 熊本西環状道路～国道3号 L=0.9km(2/4) R4年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 鎧田地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道212号 三光本耶馬溪道路	自: 大分県中津市 至: 大分県中津市	平成19年度事業化 平成21年度用地着手 平成22年度工事着手	711 711	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約99% 事業進捗率: 約78% (令和6年3月末時点) 中津IC～田口IC L=2.8km(2/2) H30年度開通 田口IC～青の洞門・羅漢寺IC L=5.3km(2/2) 令和5年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 跡田地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 長野地区ほか改良工 上ツル橋ほか下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道10号 高江拡幅	自: 大分県大分市 至: 大分県大分市	平成26年度事業化 平成28年度用地着手 平成31年度工事着手	110 110	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約62% 事業進捗率: 約56% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 鶴野地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 鶴野地区改良工 高江橋ほか下部工 昆布刈橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道210号 横瀬拡幅	自: 大分県大分市 至: 大分県大分市	平成28年度事業化 平成30年度用地着手 令和2年度工事着手	46 46	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約80% 事業進捗率: 約52% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 横瀬地区用地買収 ・工事推進: 瀬戸田橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
東九州自動車道 清武JCT～北郷	自: 宮崎県宮崎市 至: 宮崎県日南市	平成10年度事業化 平成17年度用地着手 平成17年度工事着手	1,622 1,622	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約97% (令和6年3月末時点) 清武JCT～清武南IC L=1.2km(2/4) H24年度開通 清武南IC～日南北郷IC L=17.8km(2/4) R4年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事推進: 工事用道路撤去工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道218号 五ヶ瀬高千穂道路	自: 宮崎県西臼杵郡 五ヶ瀬町 至: 宮崎県西臼杵郡 高千穂町	平成30年度事業化 令和2年度用地着手 令和3年度工事着手	559 559	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約37% 事業進捗率: 約16% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 花の群地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 豊谷地区改良工 童里トンネル工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道218号 高千穂雲海橋道路	自: 宮崎県西臼杵郡 高千穂町 至: 宮崎県西臼杵郡 日之影町	令和3年度事業化 令和5年度用地着手	160 160	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約4% 事業進捗率: 約3% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査設計: 調査設計 ・用地買収推進: 三田井地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道220号 日南・志布志道路	【日南区間】 自: 宮崎県日南市 至: 宮崎県日南市 【志布志区間】 自: 鹿児島県志布志市 至: 鹿児島県志布志市	平成28年度事業化 平成30年度用地着手 令和元年度工事着手	549 549	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約97% 事業進捗率: 約51% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 益安地区用地買収 宗妻地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 益安地区ほか改良工 南中尾地区ほか改良工 日南油津大橋下部工 立山橋ほか下部工 日南油津大橋ほか上部工 西ヶ迫橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道220号 油津・夏井道路	【油津区間】 自: 宮崎県日南市 至: 宮崎県日南市 【串間・夏井区間】 自: 宮崎県串間市 至: 鹿児島県志布志市	令和元年度事業化 令和3年度用地着手 令和4年度工事着手	771 771	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約28% 事業進捗率: 約12% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 西方地区ほか用地買収 西ノ俣地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 油津地区ほか改良工 新開地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道220号 南郷奈留道路	自: 宮崎県日南市 至: 宮崎県串間市	令和6年度事業化	650 650	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 0% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道10号 都城道路(Ⅱ期)	自: 宮崎県都城市 至: 宮崎県都城市	平成19年度事業化 平成24年度用地着手 平成28年度工事着手	356 356	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約93% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 高木地区ほか改良工 乙房地区ほか舗装工 金田地区ほか道路附属物工 都城IC～乙房IC L=5.7km(2/4) 令和6年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道10号 新富バイパス	自: 宮崎県児湯郡新富町 至: 宮崎県宮崎市	昭和41年度事業化 昭和41年度用地着手 昭和41年度工事着手	195 195	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約99% 事業進捗率: 約90% (令和6年3月末時点) 新富町日置～新富町上富田 L=2.4km(2/4) S43年度開通 新富町三納代～新富町上富田 L=1.7km(4/4) H11年度開通 軍瀬交差点付近 L=0.6km(4/4) H19年度開通 田中地区 L=0.8km(4/4) H29年度開通 日向大橋地区 L=1.0km(4/4) H29年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 三納代地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道10号 住吉道路	自: 宮崎県宮崎市 至: 宮崎県宮崎市	令和5年度事業化	490 490	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 約1% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道3号 阿久根川内道路	自: 鹿児島県阿久根市 至: 鹿児島県薩摩川内市	平成27年度事業化 平成29年度用地着手 平成30年度工事着手	1,050 1,050	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約40% 事業進捗率: 約18% (令和6年3月末時点)	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 湯田地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 西目地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道3号 鹿児島東西道路	自: 鹿児島県鹿児島市 至: 鹿児島県鹿児島市	平成13年度事業化 平成14年度用地着手 平成17年度工事着手	1,188 1,188	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約99% 事業進捗率: 約63% (令和6年3月末時点) 鹿児島IC～田上ICランプ L=0.4km(2/4) H21年度開通 鹿児島IC～田上ICランプ L=0.4km(4/4) H25年度開通 田上IC～建部IC L=1.8km(2/4) H25年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 武地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 東西道路シールドトンネル工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道10号 白浜拡幅	自: 鹿児島県始良市 至: 鹿児島県鹿児島市	平成19年度事業化 平成22年度用地着手 平成25年度工事着手	150 150	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約52% (令和6年3月末時点) 大崎地区 L=0.3km(4/4) H27年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 白浜地区改良工 脇元高架橋下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。
国道10号 鹿児島北バイパス	自: 鹿児島県鹿児島市 至: 鹿児島県鹿児島市	昭和50年度事業化 昭和56年度用地着手 平成4年度工事着手	555 555	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 約89% 事業進捗率: 約27% (令和6年3月末時点) 祇園之洲～浜町 L=0.9km(2/4) H5年度開通 浜町～小川町 L=0.3km(4/4) H11年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 花倉地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 花倉地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。

九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道220号 古江バイパス	自: 鹿児島県鹿屋市 至: 鹿児島県垂水市	平成元年度事業化 平成4年度用地着手 平成13年度工事着手	200 200	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約92% (令和6年3月末時点) 花岡町交差点～まさかり交差点 L=3.9km(2/2) H19年度開通 古里町交差点～花岡町交差点 L=1.3km(2/2) H22年度開通	R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 小野原地区改良工 古里地区ほか舗装工 白水地区ほか道路附属物工 鹿屋市白水町～鹿屋市古里町 L=2.3km(2/2) 令和7年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進する。